

ついに 丹波が動き出す

未来に生きる力を育む

シン・タンバ

京都府立丹波支援学校
スクールガイド 2025

未来に生きる力を育む学校 ～シン・タンバ～

京都府立丹波支援学校は京都府の中部地域にあります。校区は広く、東は福井県と滋賀県、西は兵庫県と大阪府に隣接しています。京都丹波高原国定公園に代表されるように、豊かな自然に恵まれた人々の暮らしがあることからこの地域一帯は「森の京都」と呼ばれています。

本年度は、小学部 90 名、中学部 52 名、高等部 86 名の全校児童生徒 228 名でスタートをしました。本年度の学校運営テーマは「未来に生きる力を育む学校～シン・タンバ～」です。

大切にしたいコンセプトとしては、まず、「自分で考え、判断し、伝えることのできる児童生徒の育成」です。小学部の時期から自分で考えて決めること、自分はどうしたいのかを伝えることを積み重ねることが、高等部の最終目標である希望進路の実現や、社会とつながりながら自分の幸せを生きていく力につながると考えます。

次に「丹波スピリッツ」の実行です。「丹波スピリッツ」とは「挨拶をすること」と「チャレンジすること」です。挨拶を交わすことで人も自分も大切にする学校風土づくりを行い、子ども達が新たな行動を起こそうとする機会を大切に応援し、成功からも失敗からも学ぶたくましい児童生徒を育成します。

「シン・タンバ」の「シン」に、「新」「伸」「進」「心」…とどんな言葉が入っていくのかとても楽しみです。

最後になりましたが、学校運営協議会をはじめ、保護者の皆様、地域・関係機関の皆様の様々なお力添えをいただきながら引き続き「地域に開かれた教育課程」の実現を目指していきます。また、南丹圏域の特別支援教育の充実を図り共生社会の実現がかなうよう、教職員一同、努力をしております。引き続き、本校の教育の推進に御理解をいただき、より一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

地域の中で、子ども達と教職員が織りなす「シン・タンバ」にどうぞ御期待ください。

校長 由良 知子

◇ 教育目標 ◇ 学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達

- (1) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の育成
- (2) 基礎的な学力・健康の向上と豊かな人間性の育成
- (3) 一人一人に応じて自立し社会参加する資質や能力の育成
- (4) 生涯にわたり豊かに生き抜く力の育成

◇ つけたい力の 5 つの柱 ◇

教育目標の達成に向けて、個別の教育支援計画と個別の指導計画の中で具現化し、子ども達の育成につなげます。

- ①からだをつくる・生活をつくる
- ②ものごとに向かう・ものごとを受け止める・考え深める
- ③人と関わり合う
- ④自分をつくる
- ⑤地域社会で豊かに生きる・暮らす

◇ 児童生徒数 ◇

*令和7年5月1日現在

	小学部	中学部	高等部	合計
亀岡市	58	28	56	142
南丹市	25	16	22	63
京丹波町	6	8	7	21
京都市	1	0	1	2
合計	90	52	86	228

*分教室生1名含む

◇ 標準校時表 ◇

	小学部	中学部	高等部
1	9:10~9:55	9:00~9:50	9:00~9:50
2	10:00~10:45	10:00~10:50	10:00~10:50
3	11:00~11:45	11:00~11:50	11:00~11:50
4	11:45~12:30	11:50~12:40	11:55~12:20
	給食・昼休み	給食・昼休み	給食・昼休み
5	13:30~14:15	13:30~14:20	13:30~14:20
6	14:15~15:00	14:20~15:05	14:20~15:05
下校 15:05			

◇ 標準服について ◇ (着用例)

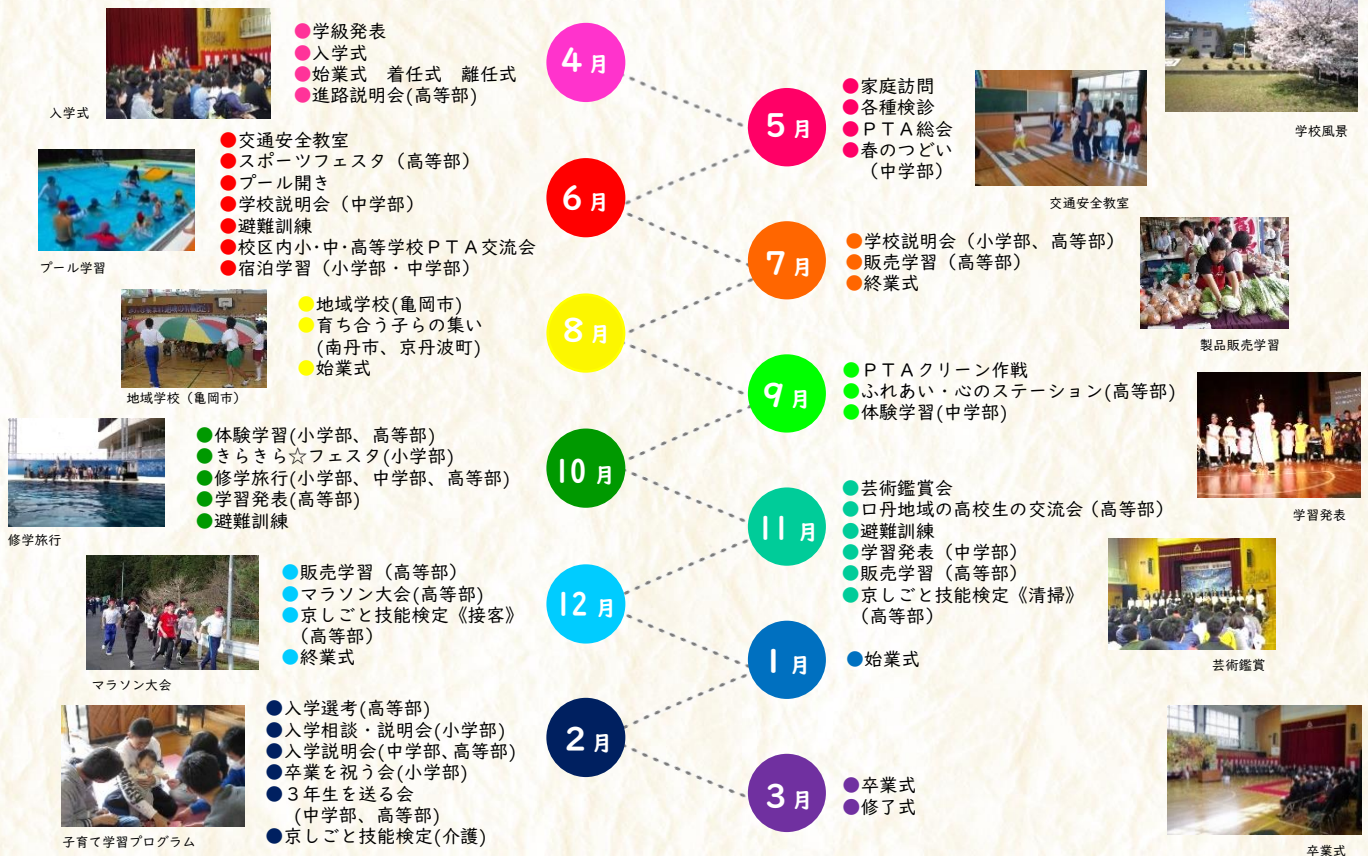


- ・ブレザー
- ・スカート
- ・スラックス
- ・リボン
- ・ネクタイ

組み合わせは自由です。

- ・中学部から着用できます。
 - ・丹波支援学校の生徒であることの自覚を一層促します。
 - ・TPOに合わせた服装の在り方について学ぶ機会とします。
- *ネクタイとリボンについては、高等部から着用します。

◇ 年間スケジュール ◇



◇ 通学について ◇

スクールバス通学 (対象…全学部)

各バス停と学校をつなぐスクールバス(11台)を利用して児童生徒が通学します。

自主通学 (対象…高等部)

公共交通機関(電車・バス)を利用して通学したり、自転車や徒歩で通学したりします。

1号車 京丹波	2号車 日吉	3号車 本梅	4号車 馬堀	5号車 別院	6号車 亀岡	7号車 マイクロ	8号車 マイクロ	9号車 マイクロ	10号車 マイクロ	11号車 マイクロ
桧山駅	原公民館	広野	森公民館前	法貴口	宇津根	丹波マークス	国道富田	古世口	大葉台1丁目	森公民館
丹波マークス	下佐々江	高芝	アルプラザ前	亀岡市役所前	北町南	新光悦村	和知駅	土田	桜台公園前	アルプラザ前
動物病院前	東谷	亀岡運動公園前	亀岡市立病院前	宇津根	亀岡病院前	淇陽学校前	下山サタ1号前	千代川駅前	亀岡市立病院前	古世口
淇陽学校前	興風体育館前	カインズ前		西田	亀岡駅北口	園部駅前	動物病院前	谷牧場前	並河	動物病院前
	鍼灸大学前	未来書房前					八木嶋		国道八木	小口
	日吉駅前	千代川駅前								
	松尾									
	新光悦村									
	曾我谷口									

丹波支援学校

◇ カリキュラム ◇

◎ 小学部（6年間）◎

小学部では、子ども達が基本的な生活習慣、基礎的な生活力、学習への構えを身に付けて、中学部、高等部へと続く学校生活の土台を築いていきます。また、保護者と連携し共通理解を図りながら、子どもの内面を充実させ、健やかな自我を育てます。

「遊びの指導」「生活単元学習」を学習の中心に据えて、基礎体力を付けたり、伝えたいという気持ちを育てたりします。学んだことを生かして、学校近隣のスーパーマーケットで買い物をしたり、電車等の公共施設を利用したり、地域の文化に触れる学習をしたりして、様々な経験の積み重ねを大事にしています。さらに、社会生活で求められるスキルやルールの習得、“誰とでも一緒にできる”ことを大切にした集団での活動等を通して、地域の中で豊かに暮らす基盤を培っていきます。

小学部低学年 知的障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育	自立活動			
3	遊びの指導／生活単元学習				
4	日常生活の指導				
	給食・昼休み				
5	自立活動	遊びの指導		音楽	特別活動
6	日常生活の指導			日常生活の指導	



遊びの指導「やってみよう」

小学部高学年 知的障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・自立活動				
2	生活単元学習				
3	体育	自立活動			体育
4	日常生活の指導				
給食・昼休み					
5	遊びの指導			音楽	特別活動
6	日常生活の指導			日常生活の指導	



生活単元学習「学校探検」

◎ 中学部（3年間）◎

中学部では、思春期における急激な身体の成長、第二次性徴の発現、自我が育ち自己主張が強くなってくる等、様々な変化が起こります。日々の授業では、一人一人の学び方を大切にして、基礎的な学力を身に付け、生徒に達成感や自己肯定感をもたせることを心掛けています。

また、「生活単元学習」を中心に生活スキルを向上させ、好きなこと、得意なことを増やすとともに、友達や先生と豊かにコミュニケーションできる力を培うことを目標に指導しています。

特徴的な取組としては、近隣の中学校と中学部全員による交流及び共同学習や進路体験学習、地域の休耕田を借用し、米作りをする「米米くらぶ」等があります。また、生徒の実態に応じて「作業学習」にも取り組んでいます。

中学部 重度重複障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	自立活動	生活単元学習	生活単元学習	自立活動	音楽
4	日常生活の指導				
	給食・昼休み				
5	総合的な学習の時間	生活単元学習		生活単元学習	特別活動
6	日常生活の指導			日常生活の指導	



生活単元学習「米米くらぶ」

中学部 知的障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・自立活動				
2	自立活動	作業学習	生活単元学習		自立活動
3	保健体育		国語	数学	特別活動
4	日常生活の指導				
	給食・昼休み				
5	総合的な学習の時間	美術		保健体育	音楽
6	日常生活の指導			日常生活の指導	



作業学習「なんでもや5組」

◎ 高等部（3年間）◎

高等部では、小中高12年間の学校教育の総和としてこれまで付けてきた力を確かなものにし、卒業後の生活を見通し自立と社会参加に向けた準備を進めています。また、一人一人が地域の中で自分らしく生き、幸せな人生を歩み続けるために必要な力の育成をねらい教育活動を推進しています。

教育課程の特徴である「作業学習（働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学ぶ学習）」では、日頃の学習で作り上げた陶器、和紙製品、野菜等を製品販売学習で販売しています。販売を通して地域の方とつながり、地域の中で役割を果たしている実感をもたせます。さらに、卒業後の生活を見据えて、高等部段階でのキャリア発達を意識し、教科横断的に確かな「学力」を追究します。

高等部 知的障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	自立活動				
2	自立活動		生活単元学習		
3	作業学習		保健 体育	作業学習	
4	自立活動				
5	日常生活の指導				
	給食・昼休み				
6	総合的な探究の時間	自立活動		音楽	特別活動
7	日常生活の指導			日常生活の指導	



作業学習「紙工」

高等部 知的障害学級（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	国語	作業 学習	作業 学習	生活 単元 学習	美術
4	数学				特別 活動
5	自立 活動	自立 活動	自立 活動		自立 活動
6	日常生活の指導				
7	給食・昼休み				
8	総合的 な探究 の時間	保健 体育		音楽	特別 活動
9				日常生活の指導	



作業学習「窯業」

*各学部の教育課程を抜粋して掲載しています。

◎寄宿舎◎

*入舎対象者は遠隔地等の入舎規程に基づいています。

寄宿舎では、友達との日常的な生活を通して生活基盤を整え、社会性を育みながら、自立し、社会参加する力を培う場です。

「安心・安定」「自分らしさの発揮」「生きていく力」「好きなこと・楽しみの発見」を柱に、一人一人の子ども達の願いに寄り添った生活環境づくりに努めています。

家庭を離れての友達との生活は、自分のことは自分でやってみる、自分の時間の過ごし方を考える、友達とともに遊ぶ、友達と一緒に活動すること等を通して、“できた”“楽しかった”の実感を育み、心の安定を図ります。

生活の流れ

15:05 下校 *水曜日は 13:35 下校
15:15 おやつ
自由時間（季節感のある遊び
やスポーツ等）
17:00 夕食
自由時間（入浴、洗濯、
ティータイム等）



寄宿舎夏祭り

寄宿舎の行事

7月：夏祭り 12月：クリスマス会 3月：祝う会

◇ 交流及び共同学習 ◇

◎小学部◎

同世代の友達と一緒に活動する経験を積み、豊かな人間性を育みます。

低学年：南丹市立八木東小学校4年生との交流
高学年：南丹市立八木西小学校4年生との交流
全学年：居住地校との交流



◎中学部◎

同世代の生徒と関わる楽しさや経験を広げ、相互理解を深めます。

全学年：南丹市立八木中学校1年生との交流



◎高等部◎

同じ地域・世代の友達と交流し、互いの理解を深め、学び合い、育ち合いの機会とします。

全学年：ロ丹地域の高校生の交流会



◇ 部活動等の活動成績 ◇

◎フットサル大会◎



特別支援学校フットサル東関西大会出場

◎全国障害者スポーツ大会◎



ボウリング競技出場

◎陸上競技◎



令和5年度亀岡市スポーツ賞
特別栄誉賞

◇ 卒業後の主な進路先 ◇

卒業後の進路先を企業、福祉事業所、職業能力開発校、進学、その他の5つに分類しています。

年 度	企 業	福祉事業所	職業能力開発校	進 学	その他	合 計
令和4年度	6	21	2	0	1	30
令和5年度	1	16	1	0	2	20
令和6年度	6	21	2	0	1	30

企業…ライフコーポレーション、ニチコン亀岡、鶴屋吉信、るり溪温泉、GU、ワコールアイネクスト、京都先端科学大学（事務、清掃）
ミネベアショーワ、マイ・スター、大和ムービング、十川産業、株式会社マツモト、三菱自動車ウイング、ムラタコスモス、カインズ 他
福祉事業所…亀岡福祉会、ワークスおい、城山共同作業所、通所支援センターるりけい、はびあ、Grapegarden、美山育成苑、圭の家
えすべらんと・α、白桃舎 WORKS、ハーモニージョブズ、ひより舎、暮らしランプ、とんとん工房、あじさい園
あゆみ工房、u&n 就職支援センター、u&nWORKS、あしたーる工房、京都太陽の園、こひつじの苑、ゆうゆう、エヌファーム
ヴィレッジれん、ワークスタジオ亀岡、INCOP 京都九条、しゃくなげ共同作業所、花ノ木医療福祉センター 他

◇ たんば地域支援センター ◇

障害のある子ども達の教育や生活についての相談支援、特別支援教育にかかわるスキルアップのための研修支援を行っています。

主な相談・支援内容

- 子どもの発達や状態について
- 子どもの見方や捉え方について（発達検査を含む）
- ことばの遅れについて
- 身体の動きや姿勢について
- 学習や生活に関する適切な支援方法について
- 個別の指導計画や教育支援計画の作成と活用について
- 支援のコーディネーションやコンサルテーションについて
- 就学や進路指導の進め方について
- 校内研修会等への講師の派遣について



お問い合わせ

障害や発達、子どもの気になる行動、困っていることがあれば、まずはお電話ください。

☎ 0771-42-5185

*たんば地域支援センター担当まで
(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

◇ アクセス ◇

* 電車でお越しになる場合*



JR 嵯峨野線「八木駅」より徒歩 30 分

* お車でお越しになる場合*

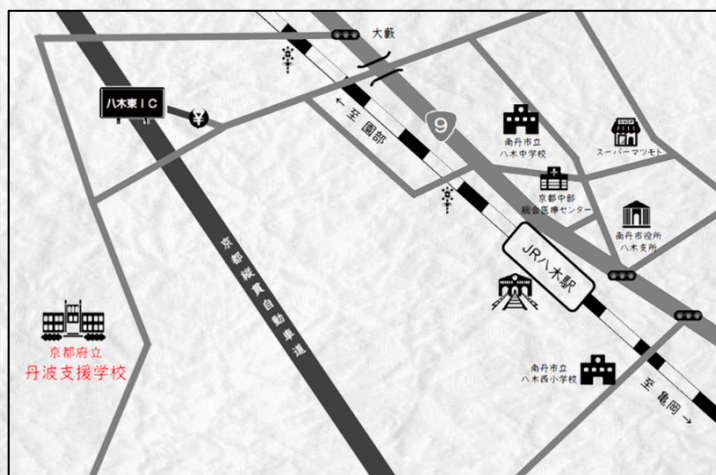


京都方面より

京都縦貫自動車道「八木東 IC」下車 3 分

福知山方面より

京都縦貫自動車道「八木中 IC」下車 5 分



京都府立丹波支援学校

〒629-0154 京都府南丹市八木町柴山坊田 118
TEL 0771-42-5185 FAX 0771-42-5186
HP <https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms/>
Mail tanba-s@pref.kyoto.lg.jp



校章



全体の形は、丹と輪（和）から成り立っている。

1. 丹波高原の自然の美しさ（準平原）を表し、恵まれた自然の中でのびのびと成長を願うものである。
2. 丹は一市二郡（亀岡市・旧船井郡・旧北桑田郡）を意味し、それぞれが輪によって結ばれ、本校が一市二郡によって設立され、今後も協力・協調して学校づくりを目指すものである。
3. 丹の字の先端は一人一人の子どもの成長と発達を限りなく願うものである。